

Mitsuhiro Sasakawa

1961

JAPANESE FUNGIVORIDAE I.

Records of eleven unknown species from Japan.

KONTYŪ, 29 (1961), 88 - 90

## 日本産キノコバエについて (I)\*

笹川満広

京都府立大学農学部昆虫学教室

Japanese Fungivoridae I. Records of eleven  
unknown species from Japan

By Mitehiro Sasakawa

わが国のキノコバエ類に関しては岡田一次博士の数多い研究報告によつてその全ほうはあ  
る程度明らかになっているといえ、饒産する那産種を検討すればなお多くの未記録種や新  
種がみられるようである。私は幸いにも馬場金太郎博士、徳永雅明教授の採集品並びに安松  
京三教授の御厚意によつて九州大学農学部昆虫学教室所蔵の標本を検査することをここに報告する。  
それらのうちの *Sciophilinae* 亜科に属する 11 種が本邦に産することをここに報告する。  
本文に入るに先立ち、これらの貴重な標本を研究する自由を与えられた上記の諸先生に厚  
くお礼を申上げる。

1. *Mycomyia cinerascens* Macquart

体は黄色；前頭、後頭部、触角（基部環節と第 1 環節の基半部は除く）及び中・後胸副板  
は褐色；中胸背は褐色であるが側縁はやや淡く灰色粉で被われる；小楯板は 1 対の剛毛を有  
す。翅は殆んど透明，Sc は長く C に終る，Cu の分岐点は r-m 線の前方に位置する。脚  
は黄色であるが後脚基節の側面下方及び跗節は褐色を呈す。前脚第 1 跗節は脛節より長い。  
腹部は僅かに光沢ある黒褐色で各節の後端部は幅広く黄色。体長 4.5 mm。

1 ♀, Wakasugiyama, Chikuzen, Kyushu, 8. IV. 1930, H. Iiori leg.; 1 ♂, 2 ♀, Ku-  
rokawa, Echigo, Honshu, 13. IV. 1955, K. Baba leg.

分布：日本（本州・九州），ヨーロッパ。

2. *Mycomyia occultans* Winnertz

前種と次の諸点を区別できる：中胸背は黄色で褐色の 3 条線を有する，胸部側板は淡褐色，  
小楯板は 2 対の剛毛を有す，R<sub>1</sub> 室は黄褐色を呈す，前脚第 1 跗節は脛節とほぼ等長，中脚基  
節は棘状突起を有す，後脚基節は黄色。体長 4-5 mm。

1 ♂, 1 ♀, Matsuyama, Shikoku, 3. X. 1951, M. Sasakawa leg.

分布：日本（四国），ヨーロッパ。

3. *Mycomyia ornata* Meigen

Cu 脈の分岐点は r-m 線上に位する，小楯板剛毛は 2 対，前脚第 1 跗節は脛節とほぼ等長で  
あることによつて容易に *cinerascens* と区別できるが，前脚基節の内面末端には剛毛状に短

\* 京都府立大学農学部昆虫学教室業績 第 71 号。

毛を密生しているのが特長である。体長 5-6.5 mm。

2 ♂, Asiu, Kyoto, 4. V. 1939, M. Tokunaga leg.; 1 ♂, Kurokawa, Echigo, 12. XI.  
1955, K. Baba leg.

分布：日本（本州），ヨーロッパ。

4. *Mycomyia trilineata* Zetterstedt

本種は Sc が R<sub>1</sub> に終り，Cu 分岐点が r-m 線より後方に位置していることにより前 3 種  
と全く異つてゐる。全体淡黄色；前頭及び後頭，触角，跗節などは淡褐色，中胸背には 3 横  
色条線がある；雄の腹部は褐色を帯ぶ。体長 4.5 mm。

2 ♂, Kurokawa, Echigo, 4. X. 1955, K. Baba leg.

分布：日本（本州），ヨーロッパ。

5. *Neoempheria proxima* Winnertz

色彩と脈相によつてオビマドキノコバエ *N. ferruginea* Brunetti とはたやすく区別できる。  
全体黄色，基部の 2 節を除く触角環節及び下顎鬚は黒褐色，中胸背には淡褐色の 3 縦線があ  
る，脛・跗節は淡褐色，腹部背板の褐色紋は後方のものほど幅広くなる。体長 4 mm。

1 ♂, Kurokawa, Echigo, 4. X. 1955, K. Baba leg.

分布：日本（本州），ヨーロッパ。

6. *Monoclonia forcipata* Strobl

頭・胸部は黄色，触角は基部 3 節を除き褐色，中胸背には光沢ある黒色の 2 縦線があり，  
その間に不明瞭な褐色条線がある，腹部は光沢ある黒褐色で各背板後縁は黄色，脚は黄色，  
跗節はやや褐色を帯びる。体長 4.5 mm。

1 ♀, Hikosan, Kyushu, 6. V. 1960, M. Sasakawa leg.

分布：日本（九州），オーストリア。

7. *Acnemia braueri* Strobl

既知那産種との区別点は次の通りである。

	<i>longipes</i> Winnertz	<i>braueri</i> Strobl	<i>amoena</i> aino Okada
頭部・腹部	褐～黒褐色	褐	黒褐色
平均棍	褐色	黒褐色	黄色
中脚基節	褐色	黄色	黄色
翅	褐色	殆んど透明	先端部褐色

1 ♂, 1 ♀, Kurokawa, Echigo, 17. VII. 1959, K. Baba leg.

分布：日本（本州），オーストリア。

8. *Boletina flaviventris* Strobl

全体黒色；触角は黄色の第 1～2 環節を除き黒褐色，下顎鬚は黄色，脚は黄色であるが脛・

跗節はやや褐色を帯ぶ、腹部第2～4環節背板の後側縁及び腹板は黄色；CはR<sub>5</sub>接点をこえて伸びる、体長 5.5 mm.

1 ♂, Matsugata, Echigo, 29. IV. 1955, H. Koike leg.

分布：日本（本州）、エストニア、オーストリア。

### 9. *Boletina trivittata* Meigen

頭部は黒褐色、下顎鬚は黄色、中胸背は灰色粉に被われ3条の黒紋がある。腹部は黒褐色、脚は黄色、脛節の先端及び跗節は暗色を呈す；r-mは長く、R<sub>5</sub>脈と殆んど同一水平線上にある。体長 5.5 mm.

1 ♀, Sōunkyō, Hokkaido, 1. XI. 1942, M. Tokunaga leg.

分布：日本（北海道）、ヨーロッパ。

### 10. *Boletina groenlandica* Staeger

下顎鬚は黒褐色、腹部背板の後縁は黄褐色及び中・後脚基節は黒色であることによつて前種と異なる。中脈基部はr-m長より短い。体長 4.5-5 mm.

3 ♂, Sōunkyō, Hokkaido, 1. XI. 1942, M. Tokunaga leg.

分布：日本（北海道）、ヨーロッパ。

### 11. *Boletina plana* Walker

色彩は *trivittata* に似るが、中胸背の黒紋はそれほど明瞭でない。有毛の後胸側板は他種と全く異なる。体長 4-5 mm.

4 ♂, 29. III. 1955; 15 ♂, 1 ♀, 3-8. IV. 1955, Kurokawa, Echigo, K. Baba leg.

分布：日本（本州）、ヨーロッパ。

---

## 学 界 ニ ュ ー ス

### 昆虫の多型現象に関するシンポジウム

Royal Entomological Society の主催で Symposium on insect polymorphism が行なわれることになった。

場所 Society's rooms, 41, Queen's Gate, London, S. W. 7.

日時 1961年9月21日—22日。

話題提供者は Prof. O. W. Richards, Dr. E. B. Ford, Dr. P. M. Sheppard, Prof. Th. Dobzhansky, Prof. C. D. Michener, Dr. M. Lüscher, Dr. A. D. Lees, Dr. J. S. Kennedy, Dr. J. H. Sang および Prof. V. B. Wigglesworth で何れも興味深い分野について講演されるようである。

出席希望者またはそれに関してさらに詳しく知りたい人は、直接学会の幹事宛に申込またい。  
(安松京三)